

平成28年度 第1回 安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び
協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会 会議概要

1	審議会名	平成28年度 第1回 安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画策定・評価委員会
2	日 時	平成28年6月22日 午前9時30分から午前11時30分まで
3	会 場	本庁舎 3階 共用会議室306
4	出席者	熊井委員、重野委員、内川委員、大神委員、青柳委員、小河委員、飯沼委員、初谷委員、花岡委員、宮澤委員
5	市側出席者	堀内市民生活部長、宮澤地域づくり課長、山田課長補佐兼まちづくり推進担当係長、金子まちづくり推進担当主査
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	1人 記者 1人
8	会議概要作成年月日	平成28年6月22日

協 議 事 項 等

1	会議の概要
	<p>【委嘱書交付】</p> <p>(1) 開会</p> <p>(2) あいさつ</p> <p>(3) 審議</p> <p>①平成27年度 協働事業進捗状況について（資料1）</p> <p>②市民活動サポートセンターについて（資料2）</p> <p>③市民協働事業提案制度【平成29年度事業】について（資料3）</p> <p>④安曇野市自治基本条例制定市民会議中間報告について（資料4）</p> <p>⑤その他</p> <p>(4) 閉会</p>

2	会議事項概要
	<p>(1) 開会</p> <p>【事務局】</p> <p>栗田副会長が欠席により、事務局にて進行させていただく。</p> <p>(2) 会長あいさつ</p> <p>(3) 審議</p> <p>【事務局】</p> <p>本日は10名の委員に出席いただいている。設置要綱第6条第2項の規定に基づき、過半数の出席をいただいております。委員会の成立をご報告させていただきます。</p> <p>①平成27年度 協働事業進捗状況について</p> <p>【事務局】</p> <p>資料1に基づき「安曇野市協働のまちづくり推進行動計画進捗状況」について説明。</p> <p>【内川会長】</p> <p>ただいま事務局より説明があった。この委員会の役割として、「協働の推進に関すること」がある。委員会として、今度さらなる協働の推進のため、ご意見等あればお願</p>

いしたい。

【委員】

地域リーダー育成講座について、第一期の半分が終わったところ。修了の時期は。

【事務局】

アルプス区を実践の場として行う。区の都合があるが、本年度中には方向性をだしていく。

【委員】

リーダー育成講座には何名が参加しているのか。

【事務局】

16名である。

【委員】

地域リーダーにどのように活躍していただくか。また、16名では足りない。区によって選出の方法が異なると思うが、区長に立候補をしていただくなど、区の中に入ってもらえるようにすることはできないか。

【事務局】

前半は座学でご指導いただいたが、実践を積むことが大切ということで、後半は実戦形式としている。その中で学び、設置を目指すまちづくり推進会議の中でご活躍いただくことを考えている。

【委員】

区長の立候補というお話があったが、関心はある。区長としての職務を遂行することが第一。職務量を見た時に、時間的な余裕があるか、区長の職にありながら講座を受けて全うしていく自信がないのが正直なところ。区長を降りたらやってみたいと思う。

【委員】

区長に出てもらうのではなく、育成講座を修了した方に区長になってもらうということ。

【委員】

それは素晴らしいこと。どこの区も区長のなり手が無いので、そういった状況になることを願っている。

【委員】

人材不足の状況なので、専門的な知識を持たれた方が区に参画していただくのは賛成。一方で、区は地縁型の組織なので、参画していただく方と区との関係が大切。各区でも立候補制をとったところもあったが、上手くいかなかった。専門的な知識を持った方はもう少し全体的なところで区長の相談役になってもらうなどが良いのでは。

【委員】

基本的には区の中からだすもの。区の中から講座にでてもらう。

【委員】

各地域から出ている方に偏りがあった。豊科からの方が多かった。全市的に増やしていくかといけない。机上論もあるが、実践が大事。

【委員】

市として、育成講座を終了後に、具体的にどのような機能を持った人を育てたいという、意図があれば教えていただきたい。側面からサポートする立場として共有したい。

【事務局】

全てに対して専門性があるのではなく、それぞれ専門性も違う。設置を目指しているまちづくり推進会議も、全市的に一つの組織体として、全市的な課題を解決していくことを考えている。そこには色々な代表が入って、区長会から上がってきた課題、また他から上がってきた課題に対し、この問題にはどのような方が入ってもらえばよいかを検討する。課題も多岐に亘るので、課題に応じて専門性の高い方に入ってもらおう。最終的には地域リーダーなので、区の中のサポート役として何人か入れるようになれば良いと考えている。

【内川会長】

資料1、P2の市の情報発信。過日開催されたくるりん講座について、参加者が十数名だった。県から講師を呼んでいるのに、先生に対してもいがかかと思う。テーマごとに対象メンバーを絞って、何かの方法で呼びかけるなど、対応することはできないか。安曇野市の印象も悪くするのではないか。講座などを通じて広くアピールする。組織を通じてPRしていくことを考えることも大切。P5の地域力向上事業交付金について。本年度が55区。区長に話したら、区長が申請を忘れていたとのこと。何のために地域力向上事業があるのか、徹底しているところと徹底していないところがある。これまで55区しかやっていないのが疑問。地域課題を解決するための準備の交付金。各区で真剣にどのように使うか考えないといけない。

【委員】

P6の市民提案制度の周知はどのように行っているのか。

【事務局】

広報、ホームページ、今後は登録団体にも伝えていきたい。

【委員】

アナウンスに工夫が必要。まめにアナウンスしないといけない。ホームページは見ない。広報は捨ててしまう。もっと色々な伝達方法が無いと伝わらない。

【事務局】

ご指摘の通りであり受け止めていく。具体的な改善策について委員会で提案をいただければありがたい。

【内川会長】

団体間の口コミで広げていくことも必要。チラシをただ配るだけでなく、口利きをしながらより多くの周知のために、委員もできることをしていければ。

【委員】

あづみのFMを使ってほしい。こまめにやっていかないと伝わらない。

【委員】

活動団体の登録だが、社協はたくさんの団体をもっている。社協に登録していただいたら増えるのでは。熊本のボランティアに行ったが、その内容について報告したい。

【委員】

ご指摘いただいた。例えばくるりん広場の登録団体と協働でボラネットを作成している。毎年更新していきたい。社協も団体があるが、知らないことばかりで、規模の大小問わず、情報を収集していき、一元化を行政とともに作っていきたい。広報も、ホームページは関心のある方だけ。500名の社員が社協にいる。社内ネットにて掲載することもできるので、活用していただければ。

【委員】

くるりん講座に参加した。確かに少人数だった。委員の方も少なかった。広報は難しい。健康づくりの会長を昨年やっていたが、年に2回新聞を発行しているが、見ている方は少なかった。どうやったら健康づくりを進めていけるのか検討したが、良い結論が出ない。講座はチラシを送っていただいたので出席した。良い話でも集まらない。社協のボランティアに私の会も入っている。団体を通じて人を集めるということはどこでも難しい。社協の評議員をやっているが、そこでも同じ。難しい課題。

【委員】

広報はデジタルとアナログの二つでやっていかなければならないが、回覧も一つの広報である。区で回覧板を担当して感じるのは、回覧板で回す内容が厚いので、全て見ることなく、回してしまうのでは。その辺も改善するのも一つかと思うが、その分、区の負担も増えてしまうので難しいところもある。

②市民活動サポートセンターについて

【事務局】

資料2に基づき、市民活動サポートセンター事業計画について説明。

【内川会長】

事務局から説明があった。ご意見等ある方はお願いしたい。(特になし)

③市民協働事業提案制度（平成29年度事業）について

【事務局】

資料3に基づき、市民協働事業提案制度において、庁内より設定のあったテーマ、6事業について概要を説明。

【委員】

広報のラジオ版で聞いた。私のところに8mmフィルムがあり提出した。明科地域からの提出が多かった。市全体的に掘り起こせばもっとでてくる。掘り起こすお手伝いを行政ですべき。

【事務局】

当然、この事業は丸投げではなく、市も共に汗を流していくものである。

④自治基本条例制定市民会議中間報告について

【事務局】

資料4に基づき、自治基本条例制定市民会議中間報告について説明。

【委員】

資料1、P1の町村合併について。昭和30年代の町村合併の歴史、ドラマについても触れていただければ。

【内川会長】

5地区において中間報告を実施したと思うが、参加者が大変少なかった。区長さん方が多く、一般市民が少なかったように思った。報告会をやっても、大事なことを論議しているが、ある組織で検討したものが、そのまま制定されてしまう。一般の人が意見を言えるような雰囲気が必要。

【事務局】

ホームページ、広報誌でも特集として掲載した。また、区長、市民ワークショップ参加者等に報告書を送付した。報告会の参加者も少なかったのが現状で、自治基本条例自体がわかりにくいという点もあるが、実は一人ひとりに関わること。今、指摘をいただいたが、制定に向けたプロセスが大切。様々な立場でご意見をいただければ。

【委員】

参画しにくい子どもたち、障がいのある方、入所者などにも情報保障をしていく。誰でもアクセスできることを保障し、参画しやすい環境づくりについてどこかに入れられれば。

⑤その他

【委員】

地域リーダー育成講座について、地域別の人数を知りたい。あまり少なかったら声を掛けようと考えている。

【事務局】

16名の受講生の内訳は、豊科9名、穂高4名、堀金3名。第2期を10月頃に募集を考えている。

本年度は今回を含め、年4回程度の会議、また、1回の視察研修を予定している。今後ともよろしくお願いしたい。

(4) 閉会